

科目区分	専門教育科目	授業科目名	保育と音楽表現 a			科目コード	26Y108	担当者	福井 昭史、中村 浩美、内田 誠、大野 陽子、寺谷 陽子、村田 実智代、山浦 直子、吉田 智子			担当形態	クラス分け
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	春学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士必修		
授業形態	演習	履修条件							教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分			
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び科目との関連								科目に含めることが必要な事項			

授業の主題	幼児教育に必要な音楽の基礎技能である、歌唱とピアノ演奏の知識と技能を習得する。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	声楽やピアノの学生個々の課題について復習するなどして、知識や技能の定着を図ることが望まれる。
授業の方法	声楽（子どもの歌の歌唱等）及びコード奏法（キーボードによる簡易奏法）〔A〕とピアノの個人レッスン〔B〕の授業を隔週で行う。それぞれの授業は少人数のグループに分けて実施する。	アクティブ・ラーニングの実施方法	個人の課題に対する表現活動を主とする科目であり、学生は各々の目標を定めその解決のための自主的な活動を行う。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	授業についてのオリエンテーション ピアノの学習①学習の内容と方法の理解 ※内容はグループごとに隔週で実施（1班のパターンで記述）	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第9回	ピアノの学習⑤第2段階（6音の旋律）の学習	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第2回	コード伴奏法と歌唱法の学習①学習の内容と方法の理解	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第10回	コード伴奏法と歌唱法の学習⑤	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第3回	ピアノの学習②第1段階（5音の旋律）の学習	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第11回	ピアノの学習⑥第2段階（6音の旋律）の学習	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第4回	コード伴奏法と歌唱法の学習②	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第12回	コード伴奏法と歌唱法の学習⑥	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第5回	ピアノの学習③第1段階（5音の旋律）の学習	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第13回	ピアノの学習⑦第2段階（6音の旋律）の学習	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第6回	コード伴奏法と歌唱法の学習③	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第14回	コード伴奏法と歌唱法の学習⑦	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	
第7回	ピアノの学習④第1段階（5音の旋律）の学習	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。	第15回	実技試験と前期の授業のまとめ	学習を振り返り、次の学習に生かせるように課題を明確にする。	
第8回	コード伴奏法と歌唱法の学習④	授業で学習した内容を復習し表現技能の定着を図る。			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	45分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	こどものうた200/小林美実編/チャイルド本社、子どもの歌によるピアノテキスト・2026年度版/長崎女子短期大学編、こどもの歌と伴奏/コード奏法/内田 誠	受講生へのメッセージ	幼児教育に必要な知識や技能を身に付ける授業です。技能の向上には、学習の継続が欠かせません。こつこつと努力し、練習を積み重ねることで苦手意識を克服し、成就感や達成感を味わい、音楽を楽しむことに繋げて欲しい。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

